株式会社朝日エルの、「障害と栄養・食」への取り組み(抜粋)

東の で方選び方 ・「提。他力 2006年出版 「障害」に取り組むまでに、野菜のオリジン・食の原点を探る活動(1980~90年代)、 米国を参考にした「リュートリション・ウィーク」の導入(2003年)、がん治療中の食事 に関するコンテンツづくりと発信(2006年~)など、

多くの活動を通して得られた知見や考え方、栄養の 専門家や団体・企業らとの幅広いネットワークなどの 蓄積がありました。



関連の 2006年出版

乳がんの人のためのレシビ

栄養関連の 学会の様子

- 2010 障害児者の食事調査 厚生労働科学研究補助金(障害政策総合研究事業) 障害者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究 への協力
- 2011 「服部幸應プロデュースゆうかり黒豚ランチ&美味しいトーク」 社会福祉法人ゆうかり学園(鹿児島) にて障害者福祉施設で 生産される"ぶたにく"を生かしたメニュー開発。施設の皆さんが、 お客様にサービス。
- 2016 EAST MEETS WEST(高齢者の食)を共同企画。
 ミシガン州Porter Hills(Cook Village Estates)にて日本の「美味しい
 健康的な食事を堪能する」美味しい日本の文化が健康促進にも役立つこと、
 四季を演出する旬の食材を基本に考える日本の食文化で美的感覚と味覚を
 楽しむことができることを紹介(シェフ:Mick Von Doxtater氏のコメントより)
- 2018 パネルディスカッション『障害者の「食と栄養」はどのように取組まれてきたのか?』
- 2019 まちなかでの取り組みにおいて「障害のある人の食」にプロのシェフの参加がスタート
- 2020 パネルディスカッション『世界の栄養課題の変わり目を日本がリード ~ 「障害と食」の研究がそれを実現する~ 』
- 2020 【北欧の教育最前線】障害のある人のための「食育」をメディアに掲載
- 2020-2022 日本博

障害のある人の食"農×福×食DINING"日本の食の豊かさ、おいしさを、障害者の視点とともに伝える~展覧会や舞台芸術、講演などに加え、「食」の企画にも取り組む。

全国7ブロックの福祉施設でつくられた食素材を使ったメニュー開発も。

- 2024 障害者福祉施設で働く「調理員さんを光に」プロジェクト
- 2025 障害者の文化芸術国際フェスティバル」を契機とした特別体験 ユニバーサル・ ツーリズム造成プロジェクト 『栄養を知り、日本・滋賀地方の食文化を楽しむ 夕食会』
- 2025 セッション「障害と栄養・食の未来を、いま、始める」
- 2025 『月刊社会保険』(一般社団法人全国社会保険協会連合会刊)に、 「栄養が拓く未来」連載中

そしてこれから、「栄養のあるまち」®の中のひとつのテーマとして、「障害と栄養・食」 に取り組んでまいります。







企画制作:(株)朝日エル https://www.asahielles.info/